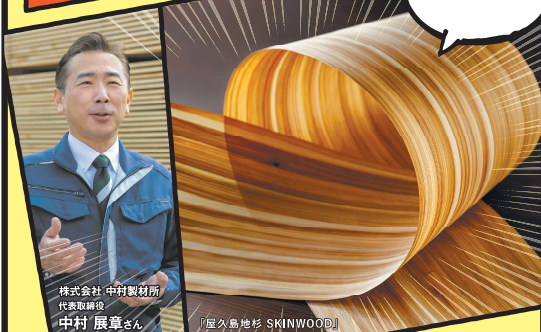


佐賀県は知的財産を

# 守る育て生み出す！

特許編



株式会社 中村製材所  
代表取締役  
中村 展章さん

「屋久島地杉 SKINWOOD」

## 特許取得の環境配慮技術でSDGs達成や企業力強化を実現

SKINWOOD®

1990年代後半、森林破壊などの環境課題が世界的に深刻化し、日本では海外木材の輸入が増え、国内木材の自給率が20%まで低下した。このため、経済活動が厳しくなった事業者が増え、森林を管理する従事者が減少していききました。森林を適切に管理し、木材を活用し、地球環境保全に貢献したい。

1990年に創業した諸富町の中村製材所は、三代目代表の中村さんは、環境に配慮した木材活用の道を模索してきました。



小径木で広く均一な径目(まきめ)を実現する「SKINWOOD®」

砂災害防止機能や生物的多様性保全などの多様な機能が維持できなくなり、このことにより、危機感を抱いた中村さんは、森林資源の事を考えた製品の開発に着手しました。

「どの技術が特許に該当し、他社の技術を侵害していないかを専門家に調査してもらった。その結果、特許出願の必要やビジネスとしての勝算、販売

で、INPIT佐賀県知財総合支援窓口にご相談し、知財登録を積極的に進め、適切な管理された人工林から森林保全のために伐採される小径木を重ねてスライスすることで、大径木と同様のまきめ、美しい模様を表現できる極薄突板の製造技術の特許出願を行いました。商標出願を行いました。

「特許を取得することで、製品の権威性が高まり、企業の信頼性が向上します。これにより、地方の小規模企業でも大手企業と同等に取引できる力を持つことが可能になります。」

「特許取得を」経営戦略につなげる。中村さん、現在、研究機関の協力を得て、SKINWOOD®の品質を更に高める研究開発を進めており、近々特許を出願予定。戦略の一環として活用した期待が高まっています。

「特許取得を」経営戦略につなげる。中村さん、現在、研究機関の協力を得て、SKINWOOD®の品質を更に高める研究開発を進めており、近々特許を出願予定。戦略の一環として活用した期待が高まっています。

また、地域の木材を原料にできない土地に根差した活用が可能。最近では、屋久島杉SKINWOOD®を製作する「SKINWOOD®」は、さまざまな地域で地域に寄り添ったものができます。

「特許取得を」経営戦略につなげる。中村さん、現在、研究機関の協力を得て、SKINWOOD®の品質を更に高める研究開発を進めており、近々特許を出願予定。戦略の一環として活用した期待が高まっています。

「特許取得を」経営戦略につなげる。中村さん、現在、研究機関の協力を得て、SKINWOOD®の品質を更に高める研究開発を進めており、近々特許を出願予定。戦略の一環として活用した期待が高まっています。

SDGsの観点から森林の保護に貢献する活動の成果として、自社技術での特許取得を果たされました。知的財産権の活用については、佐賀県知財総合支援窓口にご相談ください。

SDGsの観点から森林の保護に貢献する活動の成果として、自社技術での特許取得を果たされました。知的財産権の活用については、佐賀県知財総合支援窓口にご相談ください。

知的財産に関する悩みや疑問はこちらまで  
相談無料 秘密厳守  
INPIT佐賀県知財総合支援窓口

☎ 0952-41-9322  
営業時間：平日9:00-12:00 13:00-17:00  
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

佐賀県内の相談・支援事例をご覧ください。

佐賀県 佐賀県 知的財産 検索

次回は3/14(金)掲載(予定)